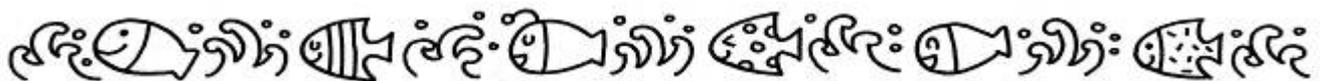




夏休み目前！ 今年はどうな夏になるのだろうか？と夏休みを前にしてスタッフの意気込みは日に日に増してきています。去年の夏を思い出しながらあれこれと予定を立て、計画を練り直し・・・出来上がった予定表を見て更に気持ちを上げております。一つひとつの取り組みに意味を持たせながら、今年の夏が終わる頃にはどんな力を身に付けられているのを想像しながら、子供たちそれぞれの成長を願っております。

さあ、夏休みに 乗り込むぞ！



今月のすがた

今年には梅雨らしい季節となり雨・雨と続く日々が何日もありました。子どもたちは『今日は公園ある？』と外に出ることを待ち遠しくするあまり、室内の中ではビックリするぐらいのパワーを見せ、パワー全開で遊んでいました。療育の後の楽しいひと時を過ごせないイライラは募る一方・・・そこで今月は雨上がりに意を決して泥んこ遊びを決行！！ 案の定ものすごい姿に職員も啞然とする光景もありましたが、当の子どもたちは水を得た魚のように生き生きと遊びに集中していました。保護者の方には、その後の洗濯・靴洗いとお手数おかけしましたが、ご理解とご協力感謝致します。



～療育～

支払い訓練 広告・カードを利用したの取り組みが始まりました。今までよりも商品のイメージがしやすく、何を購入するのか自分で決め（自己選択・意思表示）支払うことで実際の買い物に近づけるように取り組んでいます。広告やカードに興味を示し、無理なく楽しみながらの療育になっていることと、また、バスカード・お店カードを利用して先が見通せるような状況を作り取り組み始めています。

ADL 訓練 個々に教材を持ってきてもらうことで家庭との繋がりが生まれているように思います。今月は梅雨の季節ということもあって、折りたたみ傘や傘の取り扱いについて取り組んでいる児童がいます。傘を広げる・たたむ 何気ない行動の中にも取り組んでいくと難しさと楽しさが広がります。手首の動き・空間認知・力の加減など一つひとつをクリアしながら頑張っています。そのほかにはリボン結び。リボン結びの先に

はエプロン・靴紐と形は変わりますが教材から次に繋げられるようコツコツと取り組んでいます。

基本療育 今月はマカロニの形・色の分類に取り組みました。5種類と3色のマカロニを使っています。初めは2種類の違いから見分ける力を付けていきました。形の全く違うマカロニ、すぐに違いに気づける子どもいれば、なかなか気づくことができない子どもいましたが、カードでマッチングし実際のもので確認しながら地道な作業を繰り返しています。この地道な作業が実を結び、今では殆どの子が3種類までの見分ける力を養うことができました。物を見る力・見分ける力が作られるまでには、注視力・理解力・判断力と様々な力が必要となってきます。これからも指先を刺激しながら脳の活性化を図っていきます。

リトミック 今月から初めて療育の中に組み込み、バスの乗車訓練も兼ねての取り組みになっています。リトミックではプットイン・アウトプット表出を基本とし、身体バランス・リズム感を養っています。また足の親指の刺激を促すことで脳の活性化を図り、すべての活動の基礎となるよう取り組んでいます。子どもたちは、バスに乗り移動・大きな部屋での療育と言うこともあって取り組む姿勢に力が入っています。トンボのめがねの曲に合わせて走り出しスタート。力いっぱい両手を広げて走りまわりますが、動きの悪いスタッフとは違い軽快に走り回る子ども達。負けていられないと頑張っているスタッフ。1時間の取り組みが終わるころには気持ちの良い汗をかいています。



自活訓練 金曜日に上靴を洗い始めて随分と経ちます。初めの頃上靴ではなくハンカチ洗いをしていた子ども上靴洗いに取り組むようになって来ました。洗う手順を統一し順序を理解しながら見通しを持ち洗えるよう心がけています。空間認知。指先の継続した力。力加減。に加えて座る姿勢にも目を向け取り組み始めています。ハンカチ洗いを頑張っている子には、握る力・感覚を養うために食器洗いスポンジを利用した取り組みも加えイメージしやすいようにしています。

Kのひとこと

社団法人光陽福祉会になり、1ヶ月が経過しました。この間、事務手続きや、行政への移行申請等、目まぐるしく忙しい日々。そんな日々を現場で支えてくれる職員がいる。

我が法人の「生き字引き」が中村先生。中高生の部での漬物。学童の部での五平餅の味付けから現場職員の味覚指導。調理指導を行なう。隠れたドンだ。

年齢は、言えないが、かなりなもので、でも、パワフルさは、古田センター長をうならすものがある。赤いつぼみTシャツがトレンドマーク。職員の悩みを聞いて、職員間の人間関係の調整をするのも「ドン先生」の仕事だ。

ある日の会話。古田センター長「漬物の味、これでいいですか?」「私は良いと思うけど・・・」ドン先生「なるほどいいね。いいね。」と言いながら、塩を追加するドン先生。確かに私が食べても、うすかった。ドン先生の優しい気遣いで、この日も紛争は起きなかった。しかし、古田センター長の味覚は・・・

我が法人のドンは今日も紛争を抑えるべく職員間の中に入り、気持ちよく子どもを迎えられる環境整備に努めています。(今回からは“K”から見た職員紹介をしていきます)